

施策分野評価シート

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	2	子どもたちがのびのびと育つまち
施策分野	6	安全な学校と信頼される教育の確立
10年後のめざす姿	教育現場のICT環境が整備されるとともに、新しい時代の教育の実現に向けた学校と地域の連携・協働が行われています。	

2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
タブレット型パソコンの児童・生徒への配備率	14% (令和2年10月現在)	100%				100% ()
教員の出退勤システムの導入校数	0校 (令和2年10月現在)	7校(全校)				7校(全校) ()
小学校スクールガードリーダーの委嘱校数	0校 (令和2年10月現在)	4校				3校 ()
説明・コメント						-

3 予算・決算の状況

(単位:千円)

予算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	90,464				
国庫支出金	0				
都支出金	22,142				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	112,606	0	0	0	0

(単位:千円)

決算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	143,443				
国庫支出金	370				
都支出金	20,345				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	164,158	0	0	0	0

施策の評価(分析)

施策数値指標:すべてにおいて目標値に達している。予算額と決算額の乖離は、各小中学校の校内ネットワーク及び校務用PC等の入れ替えに関する費用の増加が要因である。

4 重点施策			担当課	学校教育課
施策	1	安全で質の高い教育をささえる環境の整備と安全に生活する力を育む	基本構想・重視すべき視点	危機に備える
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	<p>学校施設の維持管理・修繕を行い、今後の設計・工事にに向けた内部調査を進めた。令和2年度に整備したICT環境について、インターネット接続方式の変更を行う等、ネットワーク通信速度の改善を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校休業等に対応できるよう、瑞穂町学習用タブレット等利用規程及び学習用タブレット接続用モバイルルーター貸与規程を制定した。また、GIGAスクール構想推進のためICT支援の業務委託を行うとともに、通信環境の整備に努めた。</p> <p>通学路の安全確保のため、関係課及び関係機関と連携し安全点検を実施した。</p> <p>経済的理由により、就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対して行う就学援助費の支給認定及び支給を的確かつ迅速に行った。さらに、高等学校等(中等教育学校の後期課程含む。)に入学することが困難な者に対し、入学に必要な資金の一部を支給した。</p>		<p>GIGAスクール構想に対応しながら、校内ネットワーク等の整備で、教育現場のICT環境が着実に整備されている。国から示された通学路の合同点検フロー図を参考に、これまでの合同点検を踏まえ、交通危険箇所の把握を引き続き強化されたい。教育振興基金を活用した就学援助は、「寄付者の意向」を最大限尊重しており、この事業が継続されることを望む。</p>	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	学校施設整備事業 (プール、除湿温度保持機能復旧、校庭芝生化、ICT整備、水飲栓直結化)	学校教育課	96,165	149,578	105,139
<p>事務事業の概要 再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり</p> <p>学校教育を進める上で必要な施設等の機能を確保するため、必要な整備等を行う。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	学校施設整備事業 (教室等改修)	学校教育課	0	0	5,700
<p>事務事業の概要 再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり</p> <p>各学校とも老朽化がすすみ、各教室における改修が必要な状況となっており、児童・生徒の安全かつ快適な学習環境及び教職員の効率的な事務執行を支援するため、各校の教室などの改修や防犯カメラの更新などを行う。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	奨学金支給制度事業	学校教育課	2,400	1,980	2,700
<p>事務事業の概要</p> <p>経済的理由により、高等学校等に入学することが困難な者に対し、入学に必要な資金を支給することにより、教育の機会均等を図り、もって社会に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。奨学金の支給については、申請者が生計を一にする世帯の前年の収入額を基準として審査し、基準に適合する世帯の生徒に対し、入学に必要な費用の一部として、一律6万円を支給する。</p>					

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
4	学校における働き方の取組み	教育指導課	14,041	12,600	14,000
			事務事業の概要 平成30年10月に作成した「瑞穂町立学校における働き方改革推進プラン」及び令和2年3月に一部改正した瑞穂町公立学校の管理運営規則(教職員の業務量の適切な管理)に則り、国や都の動向を見定めながら、教職員の負担軽減に繋げていく。教員の事務負担を減らすことにより、児童・生徒の指導及び教材研究に注力できる体制を作る。		
合計額			112,606	164,158	127,539